

楽しんでます！

子育てボランティア

地域の子育て支援の大きな力になっていく、子育てボランティアの皆さん。児童会館の子育てサロンでの交流や、区民センターなどで開かれる子育て講習会の託児スタッフとして活躍しています。その取り組みの様子などを、現在活躍中のボランティアの方々からお聞きしました。

札幌地区にお住まいの米森正子さんは、赤ちゃんや小さな子どもが大好き。自分の子育ての過程で、近所の人たちなどに助けてもらったことがあったので、その恩返しをしようとして、以前から娘さんの友達や知人の子育ての手助けをしていたそうです。最近にな



「赤ちゃんをしっかり抱き締めてあげて」と話す米森さん

って、活動の場を広げるため、区の子育てボランティアに登録し、子育てサロンなどでの活動を始めました。

今は、札幌児童会館のサロンに、月二〜三回のペースで通っていますが「自分の生活に負担にならない範囲で、楽しみながら取り組んでいます」と話してくれました。



「夫や夫婦双方の両親の支援のおかげで、楽しい子育てでした」と、自身の経験を振り返る照本さん

北栄地区にお住まいの照本裕子さんも、乳幼児が大好きで、街角で赤ちゃんや小さな子どもに出会うと、微笑みかけたり、話しかけたりするほどです。自分の子どもが大きくなった今、あらためて小さな子どもたちとふれあいたいと思い、区の子育てボランティア講座を受講しました。それがきっかけで、現在は、



楽しみながら、子どもとの遊び方を身に付けることができます

北栄児童会館の子育てサロンに通っています。サロンはたくさんの親子で大にぎわいだそうです。「お手伝いをしながら、かわいい子どもたちから、元気をもらっています」と話してくれました。

子育てボランティアになるには、登録が必要です。詳細は、区保健福祉サービス課子育て支援担当（712）6331にお問い合わせください。

ボランティア講習会を開いています

小さな子どもとの遊び方を受講者みんなで練習するなど、難しい内容ではなく、リラックスした雰囲気を受講できます。今年の11月に次回を予定しており、詳細は本誌10月号でお知らせします。興味のある方は、ぜひご参加ください。

地域独自の支援の動きも始まっています

最近、区の子育てサロンのほかに、地域の方々が主体となった子育て交流の場が増えてきています。北栄、栄西（二カ所）、伏古本町、札幌の各地区で、連合町内会や福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員協議会の方々が、運営しています。

地域の中で子どもを育てるためのふれあいの場。新しい出会いや発見が待っています。



今年7月にも、北栄地区で三世代交流の場「ほくほくクラブ」が始まりました

広告欄